

## 川崎市と小田急電鉄株式会社との包括連携協定に基づく 「小田急沿線川崎エリアまちづくりビジョン」(概要版)

### (1) 目指すべき方向性と取組推進のアプローチ

#### ① 目指すべき方向性

国土交通省が提唱する「鉄道沿線まちづくり」を取組の指針とし、川崎市における小田急沿線価値向上に向けては、沿線のポテンシャルや課題等を踏まえた3つの柱となる方向性と、大都市郊外部共通の課題に対する方向性に整理されます(図1参照)。

この方向性のもと、コロナ禍等をきっかけとする社会変化によって時々刻々と変化するニーズ・課題を的確に捉え、優先的に取り組むべきものを選択し、具体施策の検討を進めます。

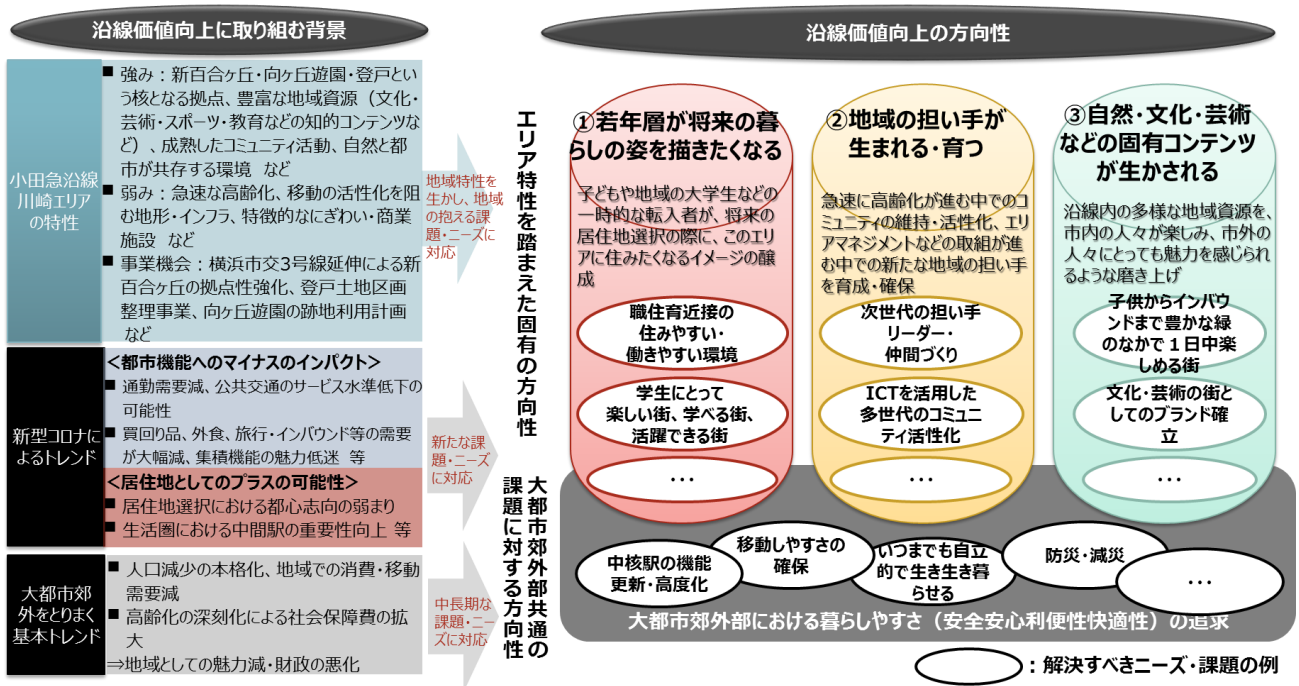


図1 小田急沿線川崎エリアにおけるまちづくりの方向性

#### ② 取組推進のアプローチ

急速に進行する高齢化等へ対応した環境整備が進むなか、新型コロナウイルス感染危機を契機とした、人々の暮らし方、働き方、居住地などに関する価値観が大きく変化しつつあり、様々な沿線地域で、今後のまちづくりに求められる新たなニーズ・課題に対応した取組が検討されています。

こうした将来の見通しが難しい環境下においては、新たなライフスタイルにつながる取組を試行的に導入し、効果を検証しつつ、新たなサービス・機能として定着させていくようなサイクルをまわしていくことが、まちづくりにおいても重要になります。

そこで、川崎市および小田急電鉄は、今後の川崎市における小田急沿線の価値向上につながるプロジェクト案を検討し、優先的に実施すべきものから試行・検証・改善を繰り返しながら本格的な実装に向けて推進していきます。また、必要に応じ、地域内外のプレイヤーと連携を図り、実効性のある体制を構築していきます。

## (2) 推進テーマ・リーディングプロジェクト案

(1)に掲げた方向性を踏まえ、地域における現状のニーズ等から以下3つのテーマを設定し、今後テーマごとに、既存の取組なども活用しながら、リーディングプロジェクトを実施していきます。

### <推進テーマ・リーディングプロジェクト案>

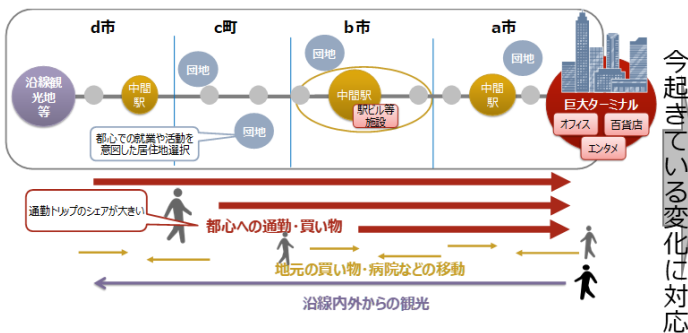
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>テーマ①：沿線内の移動創出(移動機会の提供、安心安全・快適な移手段の提供)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <b>魅力的な地域資源を活かした回遊性の向上実証</b> 検討例:バス乗車券と公共施設入場券をセットにしたデジタル周遊チケットの提供 MaaS アプリ内地図上に同チケット対象・連携スポットの表示</li> <li>➢ <b>鉄道・バスのリアルタイム運行情報の発信実証</b> 検討例:リアルタイム運行情報の発信</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>テーマ②：魅力ある賑わい空間の創出(賑わい空間の整備・持続的な運営体制の構築)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <b>オープンスペース等を活用した賑わい創出に向けた取組の実施</b> 検討例:駅周辺公共空間および多摩川河川敷におけるイベント等の実施、活用方策、運営体制の構築</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>テーマ③：地域のデジタル化推進(ICT サービスを通じた、便利で高度な暮らしの実現)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <b>アプリ等の ICT 活用に向けた取組の実施</b> 検討例:MaaS アプリ「EMot」ダウンロード・操作説明会の開催 自治会 SNS「いちのいち」導入に向けた検討</li> </ul> </li> </ul>

### (参考) 国土交通省鉄道沿線まちづくり(沿線価値向上)

これまでの「郊外に住み、都心へ通勤する」というライフスタイルに基づいた通勤需要に支えられた鉄道沿線構造から、働き方改革(テレワークの推進・普及、副業・兼業)、共働き世帯の増加、技術進展(AI、IoT など)、深刻な高齢化などの社会変化に対応した鉄道沿線構造への転換を目指し、大都市郊外部中核駅(中間駅)を中心とする生活圏において、必要な都市機能や交通ネットワークの充実を図り、人々の定住・移住や移動創出することを目指すもの。

○これまでの沿線構造：

都心部に就業や消費を依存した沿線構造



○目指すべき沿線構造：

郊外部でも、生活圏の中で居住だけでなく就業・消費・介護・子育てなどが可能な沿線

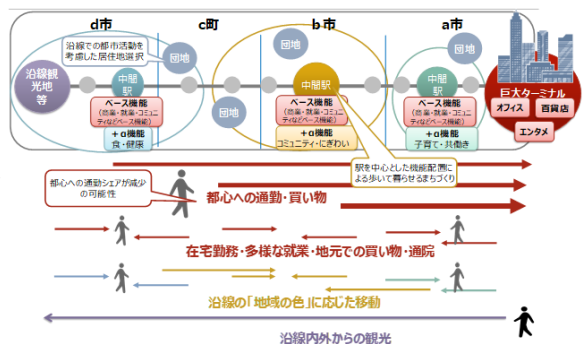


図2 国土交通省「鉄道沿線まちづくり(沿線価値向上)」が目指す方向性

出典：国土交通省